

第5学年 国語科学習指導案

日時 平成18年10月17日(火) 5校時
場所 釜石市立平田小学校
学級 5年1組男19名女20名 計39名
指導者 佐守直人(平田小)
共同研究者 大森 亘 (釜石小)
佐々木 伸 (安渡小)

- 1 単元名 人物の考え方や生き方をとらえよう
教材名 わらぐつの中の神様(杉 みきこ作)

2 単元について

(1) 単元及び教材について

本単元の目標は「行動描写・会話などから人物像を読み取る方法を知って読み、人物の考え方・生き方について自分なりの感想をもつ。」である。このことは、学習指導要領第5学年及び第6学年の「C 読むこと」の目標にある「目的に応じ、内容や要旨を把握しながら読むことができるようにするとともに、読書を通して考えを広げたり深めたりしようとする態度を育てる。」ということをもとにしている。

本教材「わらぐつの中の神様」は、人の身になって尽くす心を大切に生きていくことの尊さや幸せ、また、見かけに惑わされることなくものの本質を大切に考える大工さんの心を、おばあちゃんが孫のマサエに語り伝えるという内容である。そこにはおばあちゃんとマサエ、おみつさんと大工さんの心の通じ合いがあり、読み手の心を温かくしてくれる物語になっている。また、「現在－過去－現在」という時間経過で進む構造となっており、作品構成のおもしろさやおみつさん＝おばあちゃんと分かる意外性のおもしろさ、純粋で優しく、思いやりのあるおみつさんの人柄などが、児童の興味を引き出すであろう。

人物の考え方や生き方をとらえるために「人物の人柄や心情を表現と関係付けながら読み取る」というめあてをもち、登場人物の行動や会話文に着目して人柄や心情を考えながら読み取ることで、自分の確かな読みへと高めていくことができる。また、それらの叙述から、内容を理解するだけでなく、表現のよさや効果なども感じながら作品を味わい、読み進められるものと考えている。

(2) 児童について

児童は、全体的に時間を見つけてはいろいろな物語を読むということが好きである。自分から進んで図書館を利用し、読書に取り組んでいる児童も多い。これまでは、物語文の学習「新しい友だち」で登場人物の気持ちの変化を読み取り、小道具(クロッカス)の果たす役割についても学んできた。しかし、場面の移り変わりや情景を叙述をもとに想像しながら読むことについては十分にできていない児童が多く、登場人物の心情の変化についても話し合いの中で理解できていないといった傾向も見られる。標準学力検査の結果を見ると、中領域「段落の関係を考えながら読むこと」「場面の情景を想像しながら読むこと」は全国正答率より低い。また、「まとめりや細部に注意して読む」は全国正答率より高いが、50.5と数値が低い。これは日常生活で家庭音読に取り組んでいるものの、たどたどしい読みをしている児童が見受けられることや、叙述を十分に確認して読み進めていないことが原因と思われる。

そこで、授業時間内での音読時間の確保と、日常活動での音読指導を実践してき

た。想像しながら読むことでは「新しい友だち」で学んだ力を生かしながら，本単元を通しておみつさんと大工さんの人柄や考え方，話を聞く前のマサエと聞いた後のマサエの気持ちの変容を読み取る力を身につけることができるようにしたい。

(3) 指導にあたって

指導にあたっては，本教材に流れている温かくほほえましいおばあちゃんとマサエ，おみつさんと大工さんの心の通じ合いを子どもたちが親しみをもって読み進めていけるように以下のような展開を心がけたい。

- ・既習内容を生かしながら「わらぐつ」の役割を考え，授業を進めること。
- ・話し合い活動のなかで，登場人物の心情を考えるとときに，根拠となる叙述を見つけられるようにすること。
- ・読みの視点として，各場面に登場する人たちの考え方を対比する手法をとること。
- ・単元構成を弾力的に取り扱い時数に軽重をつけて指導すること。
- ・六年生や中学校の国語の学習へとつないでいくために，精読の続きとして，一部層読みを経験できるようにすること。
- ・子どもたち一人一人が，いろいろな叙述を味わいながら読むことを通して，確かな読みができた実感させ，成就感をもたせること。

本教材での層読みを，過去の場面を分けずに一読を繰り返す読み方ととらえ，時間の経緯に視点を当てて読み取る方法と，人物の人柄や考え方を対比させることで進めていきたいと考えている。

3 学習指導目標及び評価規準

	学習指導目標	評価規準
国語への 関心・意欲・態度	叙述の内容や表現に関心を持ち，進んで人物の関係や心の動きを読み取ろうとする。	・叙述の内容や表現に関心を持ち，進んで現在－過去－現在のまとまりごとに人物の関係や心の動きを読み取ろうとしている。
読む能力	登場人物の人柄や情景を，叙述に即して読むことができる。 (読む ウ) テーマに合った本や同一作者の本に親しみ，考えを深めることができる。(読む ア)	・作品構成の3つのまとまりに気をつけて読み，登場人物の心の通い合いを読み取ることができる。 ・登場人物の人柄や考え方の重なり合いをテーマにした本や同一作者の作品を読むことによって，自分の読みを深めることができる。
言語についての 知識・理解・技能	物語の構成に着目し，その効果やおもしろさを理解することができる。(言オ (ア))	・作品構成(現在－過去－現在)に着目し，その効果やおもしろさを理解することができる。

4 学習指導計画及び評価規準（読む 8時間）

過程	学習内容と主な学習活動	評価規準（評価方法）		
		国語への関心・意欲・態度	読む能力	言語についての知識・理解・技能
見通す	<p>教材文を読み，人物の考え方や生き方をとらえようという単元の見通しをもち，初発の感想を書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・わらぐつの中の神様を読んで感じたことや不思議に思ったことを話し合う。 ・新出漢字の練習をする。 <p>1時</p>	<p>わらぐつに興味をもち，文章の中で，心に残る言葉や心が温まる場所について話し合おうとしている。</p> <p>（発言・ノート記述）</p>	<p>本文について，おおよそのあらすじを読み取っている。</p> <p>（発言・ノート記述）</p>	<p>新出漢字について，読み方に気をつけたり，書いたりできるように練習している。</p>
	<p>教材文を読み，学習の計画を立てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3場面に分け，挿絵をもとに小見出しをつける。 ・全文を読み，学習課題を設定する。 <p>2時</p>	<p>進んで場面分けをしたり，読みの視点を考えたりしようとしている。</p> <p>（発言・ノート記述）</p>	<p>この単元でどんな学習をしていくのかを知り，単元の見通しをもっている。</p> <p>（発言・ノート記述）</p>	<p>雪国の文化や風土にある「わらぐつ」「朝市」「雪げた」などの言葉を理解している。</p> <p>（発言・ノート記述）</p>
深める	<p>雪国の登場人物の暮らしの背景と，人柄や考え方を読み取る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マサエの暮らしの背景と，おばあちゃんとマサエのわらぐつに対する考え方を対比して読み取る。 <p>1時(0.5時)</p>	<p>マサエやおばあちゃんの雪国での暮らしの背景と，人柄や考え方を対比して読み取ろうとしている。</p> <p>（発言・ノート記述）</p>	<p>マサエやおばあちゃんの雪国での暮らしの背景と，人柄や考え方をわらぐつに対する気持ちの対比などから読み取っている。</p> <p>（発言・ノート記述）</p>	<p>人物の行動描写や性格の描写に使われている語句を理解している。</p> <p>（発言・ノート記述）</p>
	<p>わらぐつにまつわるどんなできごとがあったかを挿絵をもとに読み取る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・時間の経緯に沿って，展開されている物語の内容をおさえる。 ・おみつさんの人柄と雪げたとの出会い，わらぐつを編む様子，町の人々の反応，大工さんとの出会いなどを読み取る。 <p>2時(1.5時)</p>	<p>時間の経緯に沿って，どんなできごとがあったかを読み取ろうとしている。</p> <p>（発言・ノート記述）</p>	<p>時間の経緯に沿って，どんなできごとがあったかを読み取っている。</p> <p>（発言・ノート記述）</p>	<p>物語の内容に気付き，人物の行動描写に使われている語句を理解している。</p> <p>（発言・ノート記述）</p>
	<p>大工さんとおみつさんの考え方の重なりについて読み取る。</p>	<p>おみつさんと大工さんの考え方を対比させながらその</p>	<p>おみつさんと大工さんの考え方を対比させながらその</p>	<p>会話文に使われている言語に注意して読んでい</p>

深 め	<ul style="list-style-type: none"> ・おみつさんと大工さんの考え方を対比させ、共通するところについて読み取る。 ・大工さんの人柄について読み取る。 <p style="text-align: right;">本時 3時</p>	重なり合いや人柄について読み取ろうとしている。 (発言・ノート記述)	重なり合いや人柄について読み取っている。 (発言・ノート記述)	る。 (音読・ノート記述)
る	話を聞いたマサエの感動と心の変容を読み取る。 <ul style="list-style-type: none"> ・おみつさんがおばあちゃん、実話だと気付いた後のマサエの変容について読み取る。 <p style="text-align: right;">4時</p>	おみつさんがおばあちゃん、実話だと気付いた後のマサエの変容について読み取ろうとしている。 (発言・ノート記述)	おみつさんがおばあちゃん、実話だと気付いた後のマサエの変容について読み取っている。 (発言・ノート記述)	人物の行動描写や性格の描写に使われている語句を理解している。 (発言・ノート記述)
確 か め る	これまでに読み取ったことをまとめる <ul style="list-style-type: none"> ・「現在－過去－現在」という構成について話し合う。 ・人物の人柄や考え方が表れている言葉や、場面の様子が表れている優れた叙述から、心に残ったところをまとめ交流する。 <p style="text-align: right;">1時</p>	これまでに読み取ったことをまとめようとしている。 (発言・ノート記述)	登場人物の会話や行動から、人物の考え方や生き方を読み取っている。 (発言・ノート記述)	「現在－過去－現在」という物語の構成について気付き、その効果やおもしろさを理解している。 (発言・ノート記述)
広 げ る	作者の他の作品を紹介し、実際に読んでみる。 <ul style="list-style-type: none"> ・「ある冬のかたすみで」 ・「春先のひょう」 <p style="text-align: right;">すべて出会いの話 1時</p>	自分から進んで作品を選び、読もうとしている。 (態度)	自分の読んだ作品の概要を読み取っている。 (発表)	自分の感じたことを、適切に表現している。 (発表)

5 本時の指導

(1) ねらい

おみつさんと大工さんの会話や行動を表す語句に着目し、おみつさんと大工さんの考え方や人柄について読み取ろうとする。

おみつさんと大工さんの会話や行動を表す語句に着目し、おみつさんと大工さんの仕事に対する考え方を対比することで「外見にとらわれず、使う人の身になって心を込めて」という重なりについて読み取ることができる。

(2) 展開

過程	学習活動と主発問	支援・留意点 評価
課題をつ	1 前時の学習内容を想起する。 2 本時の学習課題を把握する。	・前時で、できごとについて読み取ったことを想起しながら本時への学習意欲を高めるようにする。

か
む
5
分

おみつさんと大工さんの仕事に対する考え方を比べよう。

お
み
つ
さ
ん
と
大
工
さ
ん
の
人
柄
を
読
み
取
り
考
え
方
を
比
較
し
な
が
ら
二
人
の
共
通
点
を
読
み
取

3 学習課題を解決する

(1) おみつさんと大工さんの考え方が分かる叙述を見つける。

・おみつさんと大工さんの仕事に対する考え方がどうであるか、分かる部分に線を引きましょう。

(2) 見つけた叙述から大工さんとおみつさんの考え方をまとめる。

・おみつさんと大工さんがどんな考えをもっているかそれぞれ抜き出して、ノートに書いてみましょう。

(3) まとめたことを全体で話し合う。

・ノートにまとめたことを発表してお互いに交流しましょう。

・おみつさんと大工さんの考え方で、似ているところはどんなところでしょうか。

(4) おみつさんと大工さんの考え方を比べてみて分かったことを文章にまとめる。

・見つけられない児童は会話文に目を向けることで、探することができるようにする。

・おみつさんの考えは「はく人がはきやすいように、あったかいように、少しでも長もちするように」「心をこめてしっかりしかり」「すき間なく編み込まれていてじょうぶなことこのうえなし」などの表現から見つけることができるようにする。

・大工さんの考えは「いい仕事ってもんは見かけで決まるもんじゃない」「使う人の身になって」「今にきつとそんな仕事のできるいい大工に」などの表現から見つけることができるようにする。
おみつさんや大工さんの仕事に対する考え方について、叙述をもとに探すことができたか。(ノート記述)

・おみつさんや大工さんの考え方をそれぞれ出し、自分以外の多様な考えについても気付くことができるようにする。

・わらぐつや仕事に対する叙述から二人に共通する「心をこめて」「使う人の身になって」「長もちするように」の表現に気付くことができるようにする。

・友だちの意見を聞いてよいと思うものも文章に入れて書くことができるようにする。

A おみつさんと大工さんの「心をこめて」「使う人の身になって」「長もちするように」という表現を使いながら二人の共通点を見だし、自分の考えを含めながらまとめている。

B おみつさんと、大工さんの「心をこめて」「使う人の身になって」「長もちするように」という表現を使いながら二人の共通点を見出し、まとめている。

<p>る</p> <p>30分</p>	<p>(5)文章にまとめたことを交流し合う。 ・それでは、それぞれがまとめたことを発表してもらいます。自分の書いた内容と比べてみましょう。 (6)大工さんの人柄について考える。 ・前の時間にはおみつさんの人柄について考えましたが、大工さんはどんな人柄なのでしょう。</p>	<p>Cへの支援</p> <p>・二人の考え方の共通点を見つけられない児童には、それぞれの仕事に対する行動や発言などから似たところを探して見つけられるようにする。 (ノート)</p> <p>・自分の書いた文章と友だちの発表の内容で似ているところや違うところなどに気付くことができるようにする。</p> <p>・おみつさんの人柄を振り返り、大工さんの人柄と共通していることに気付くようにする。</p>
<p>まとめ</p> <p>10分</p>	<p>4 学習のまとめをする (1)学習を振り返りながら役割音読をする。(P18L5～P20L6) ・今日学んだことを確認するために音読しましょう。 (2)本時の自己評価をする。</p> <p>5 次時の予告をする。</p>	<p>・おみつさんや大工さんの人柄を確認しながら役割音読をする。 (全体で1回代表が1回)</p> <p>・関心・意欲・態度と内容が書けたかどうかの2点で自己を振り返らせるようにする。</p> <p>・次の時間はわらぐつのお話を聞いたマサエがどのように変わったか読み取っていくことと家庭音読をすることを伝える。</p>

(3) 板書計画

